

世界 15 カ国で 110 カ所以上のコースを手掛けた、
デズモンド・ミュアヘッド氏の設計。

コース設計はアーノルド・パーマー、ジャック・ニクラウス等世界のトッププロの設計パートナーとしても知られ、世界で活躍する米国屈指のコース設計家、デズモンド・ミュアヘッド氏に依頼。

高低差18mのフラットな敷地に広がる18ホールには、5つの池や相似形の波型バンカーが巧に配され、「水と光」に溢れた美しい丘陵コースとなっています。

プレーヤーの心に印象を深く刻み込み、豊かな戦略性を秘めた18ホールでゴルフの奥深さをぜひ堪能下さい。



デズモンド・ミュアヘッド氏からのメッセージ

私はこのコースの設計をするに当たり喜びを感じておりました。このコースは元来よりゴルフ場を設計するには大変良い条件が揃っており、ルーティングプランには成功していると信じております。私はホールと次のホールへの関連性を重視して設計いたしました。そして、ゴルフのゲームがそうであるように、連続性のある経験を感じられるようなコースになったと自負しております。ゴルフコースとは他の芸術と同様、何回プレーしても新しい経験をできなくてはなりません。そのためにプレーヤーがバックにある全てのクラブをまんべんなく使え、あらゆるタイプのショットが必要とされるよう設計上配慮させていただきました。そして、戦略的にも考えさせられるような異なった性質を盛り込みました。何度プレーしてもきっと新しい発見ができることと思います。

私はこのコースを設計できたことをとても光榮に思います。そして、皆様がプレーする際、それを感じ取っていただければ幸いです。

日本の主な設計コース

セコビアゴルフクラブインチヨダ(茨城県)
アバイディングクラブゴルフソサエティ(千葉県)
新陽カントリー倶楽部(岐阜県)

オークビレッジゴルフクラブ(千葉県)
富士クラシック(山梨県)
若木ゴルフ倶楽部(佐賀県)

デズモンド・ミュアヘッド氏プロフィール



1924年、英国生まれ。(～2002年)代表作に全米15,000の中で常にベスト10に入るミュアフィールドヴィレッジ GC、USLPGA メジャートーナメントダイナシオアの開催コース、ミッションヒルズ G&CC、マコーミックランチ GC、デザートアイランド CC、アバディーン G&CC などがある。米国ゴルフマガジン誌より『最近100年間で、最もゴルフコース設計の世界に新風を吹き込んだ設計者』との評価も受けた。また、ゴルフコースコミュニティの創始者でもある。マサチューセッツ工科大学などの多くの大学で教鞭を取り、著書は6冊にも及ぶ。

OUT cours

芝山ゴルフ倶楽部は、奇抜なデザインで有名な、
デズモンド・ミューヘッドによる遊び心に溢れた
コース設計となっております。
18人の芸術家の作品をモチーフとした
18章の物語が楽しめます。

No. 1

353Yards Par4

ホフマン



オーストリアの抽象絵画をメインとした画家、ホフマンに因んだホール
ティーショットの落下付近のフェアウェイは、少し狭くなっているグリーン
周辺の特徴あるマウンドが目立つ。

No. 2

329Yards Par4

アシュビー



イギリスの美術工芸家で彫金師でもある、アシュビーの作風をベースに
したホール。池に沿って展開する美しいコースとなっている。

No. 3

478Yards Par5

マイセン



初期の柿衛門に大きな影響を受けたマイセンを表現する為に、柿衛門図柄
に見えるようなバンカーや、マイセンの剣のようなバンカーが設置されてい
る。日本人独特の余白を生かした美しさが表現されているホール。

No. 4

397Yards Par4

ギマール



装飾的窓枠やフォルムが素敵な、アール・ヌーボ=フランス語で「新しい芸術」
という意味を持つ、自由なデザインの建築で有名な建築家、ギマールに
因んだホール。

No. 5

150Yards Par3

ミロ



物体をデフォルメして描く、非常に個性的で独特な感覚を持ったミロ。
シンプルな線とその大胆な原色を配した絵は、渾とヒトデ形のバンカーや
3段グリーンなどの個性的なこのホールで表現されている。

No. 6

296Yards Par4

アープ



生涯の大半をスイスで過ごした、彫刻家・画家・詩人でもあるアープ。
柔らかな曲線を多用し、色合いも地味めではあるが、気分が和らぐ作品。
川の流れが意図することなく作ったかのような、曲線はこの6番ホールの
緩やかなカーブでも表現されている。

No. 7

160Yards Par3

広重



ゴッホやモネなどの画家にも影響を与えた歌川広重。その鮮やかな青・藍色
は高い評価を受けており、「富士36景」などが有名。
「富士36景」の中の「駿河薩夕の海上」をモチーフにした7番ホール。
鋸状のバンカーが池の中に伸びた、名物ホールとなっている。

No. 8

326Yards Par4

北斎



浮世絵で有名な葛飾北斎。ダイナミックな構図に静・動の交錯がすばらしく、
波をイメージした作品で知られている。
7番ホールと相似形のこのホールは、池越えルートがメインとなっている。
同時代を生きた「広重と北斎」この2人を意識して表現している。

No. 9

467Yards Par5

ゴッホ



偉大な芸術家である、ゴッホ。豊かな色彩と生の躍動感を感じることのできる
作品が魅力的。
ゴッホの作品にある、情熱的な激しい色使いをしていたり、トーンを抑え
幻想的に仕上げたりとその巧みな技を表現した9番ホール。

No. 10

368Yards Par4

アレクサンダー



動く彫刻「モービル」の発明と制作で知られているアレクサンダー。かすかな空気の流れによって、その姿を変えていくモービル。シンプルな動きが組み合わさり、数多くのバリエーションの動きをみせてくれるその様子は、まさしく10番ホールを表している。

No. 15

266Yards Par4

仁清



「作家」「芸術家」と意識を持った最初期の陶工、野之村仁清。まるで掘り出したかのような立体感のある華やかな絵付けは見た人の心をひきつける。右には池、左にはマウンドと心理的にプレッシャーのかかる15番ホール。

No. 11

362Yards Par4

ブラック



ピカソと共にキュービズムの創始者の1人でもある、ブラック。色んな角度から見たものの形を1つの画面に書き出すその表現は、11番ホールのうねったフェアウェイにも表現されており、グリーン奥にあるバンカーはブラック流の鳥をイメージして作られている。

No. 16

152Yards Par3

ブランクーシ



20世紀を代表する独創的な彫刻家、コンスタンティン・ブランクーシ。彫刻作品の「見え方」へのこだわりの追求はすごく、「美は絶対的なバランスである」と言い残したブランクーシ。ブランクーシの作風にヒントを得てできた16番ホール。

No. 12

164Yards Par3

ドガ



踊り子をテーマにした名画で知られているドガ。大胆で奇抜な構図や、対象の瞬間を鋭く捉える観察眼があることでも知られている。踊り子で描かれている、彼女らの一瞬見せた何気ない動作を永久化する素描力は秀逸。ショットの明暗が1番シビアにできるホール。

No. 17

484Yards Par5

マッキントッシュ



名建築家でもあり、芸術家・家具デザイナーでもあるチャールズ・レニー・マッキントッシュ。独創的なスタイルを築き、その特徴ある模様を17番ホール表現する為に、セカンドショット・サードショットの地点に畦のようにうねるマウンドやラフが配置している。

No. 13

489Yards Par5

クリムト



多くの非難や中傷を受けながらも、自らの表現を追求し続けたクリムト。シンプルなラインながら、池につかまる可能性が高いホール。絢爛たる装飾的手法と飾ることを知らない無垢で瑞々しい感性を持ったクリムトを表現した美しいホール。

No. 18

355Yards Par4

マティス



自然をこよなく愛し、「色彩の魔術師」と謳われたアンリ・マティス。その色彩の美しさ、装飾性は今もなお人々を魅了してやみません。18番ホールにあるバンカーは、マティスの絵からヒントをもらって表現している。ドラマチックに強く印象に残るホール。


No. 14

415Yards Par4

柿右衛門



乳白色の生地を明るく鮮やかな上絵付が特徴な柿右衛門。「余白を残すことが大事。絵のバランスとともに白の美しさを損なわないように」と、余白を生かした華麗で優美な色絵が特徴的。柿右衛門の得意とする余白を崖で表現しており、プレイヤーを悩ませる。



私がこのコースのデザインを楽しんだように、ゴルファーのみなさまもこのコースを楽しまれるように希望します。

デズモンド・ミュアヘッド